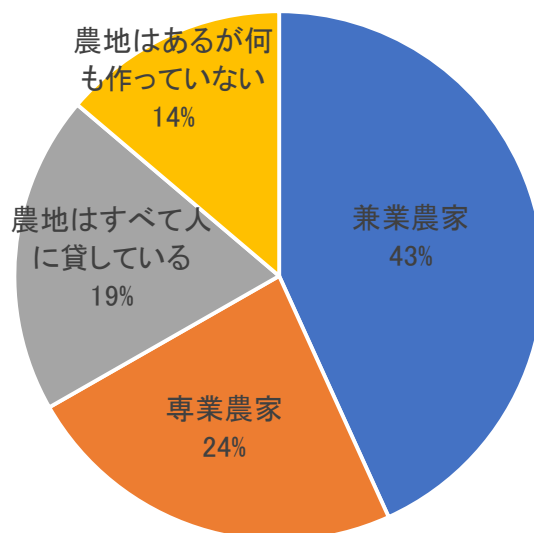


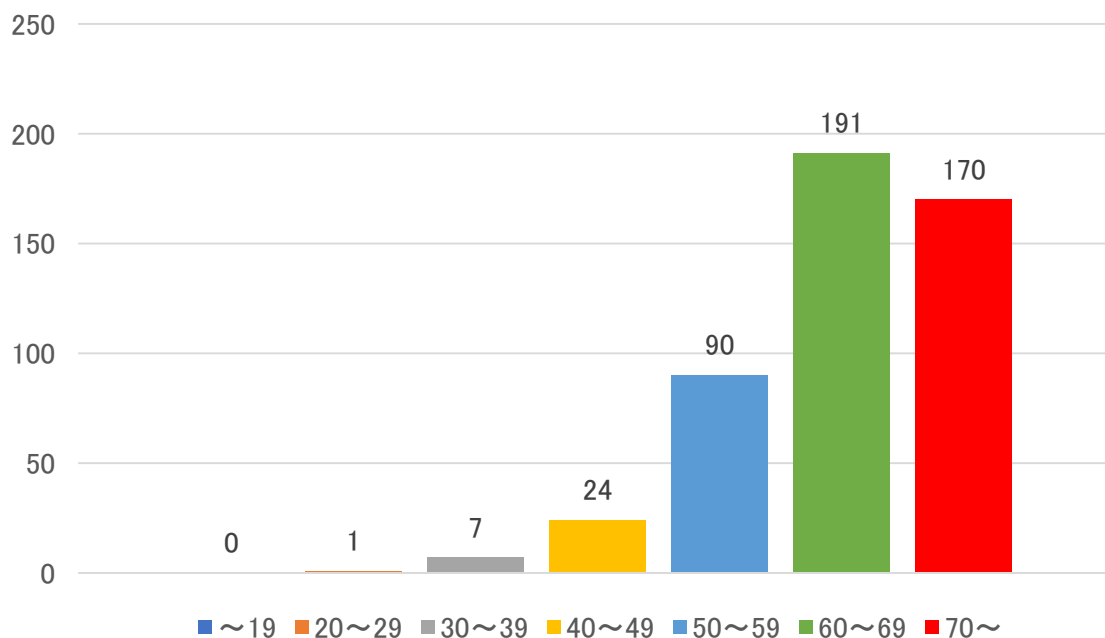
地域農業の将来に関するアンケート結果＜東・宮生地区＞

対象者総数 529 回答者数 442 回答率 83.6%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



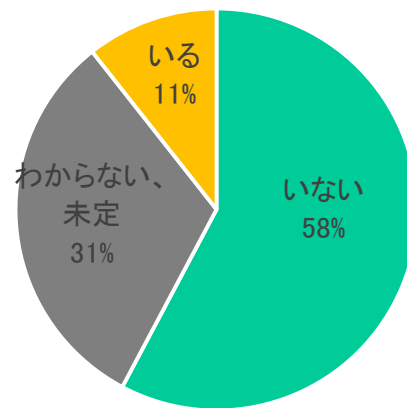
経営者年齢分布図(単位:人)



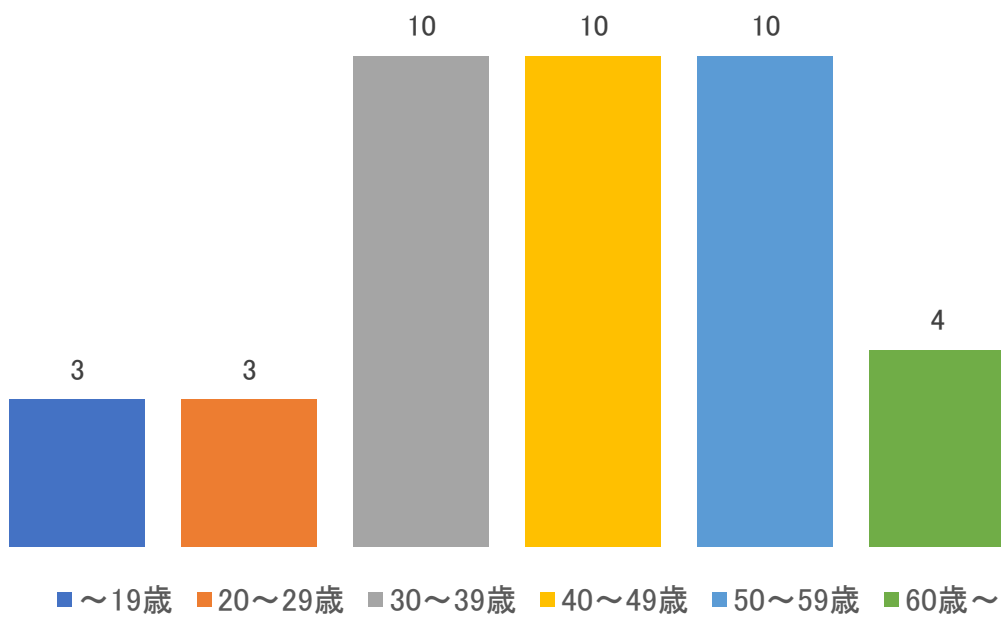
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

現在耕作している人は、専業、兼業併せて67%であった。経営者の年齢は60代が多く、地区の平均は65.8歳であった。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

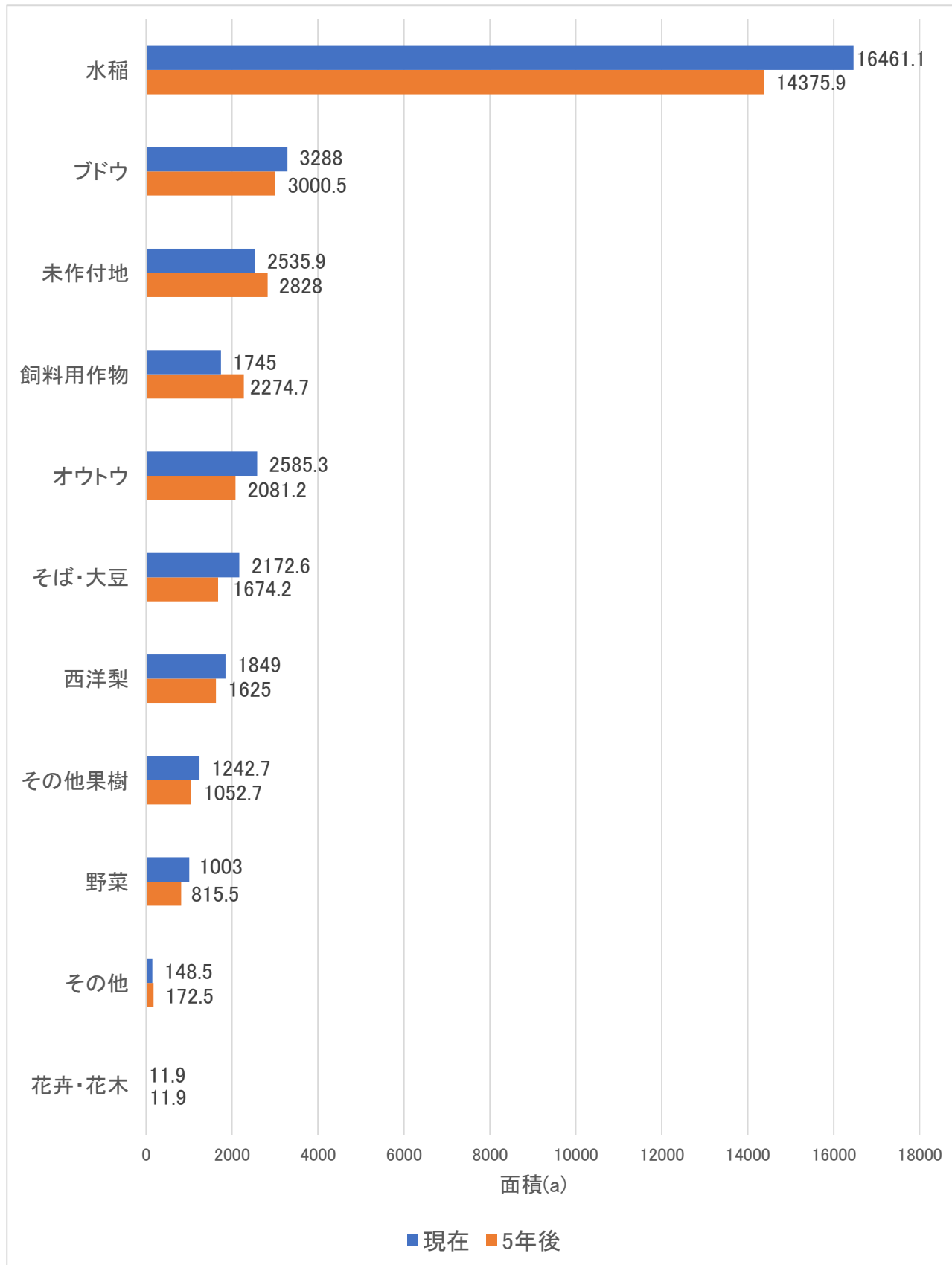


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



回答者の約6割は後継者がいないと回答。地域の後継者の平均年齢は43.2歳であった。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))



アンケートでは、現状と将来の経営面積の差は全体で 11.2%の減 (-3,423a) であった。

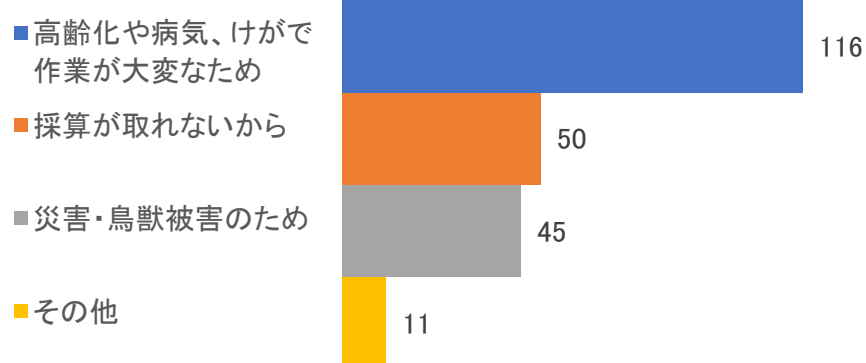
(4) (規模拡大したい方へ) 規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位: 人)



その他記載欄…

「返却された貸地を利用」
「採算の取れないものを縮小し、新たな作物を植える」
「圃場整備により休耕田を畑作に」

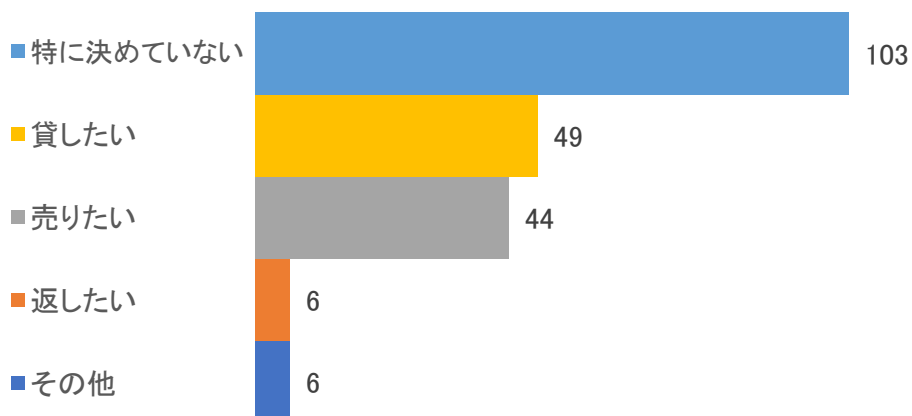
(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 理由は何ですか。(複数回答可。単位: 人)



その他記載欄…

「大型耕作機械や農業用水が使用できず、作付けは困難な農地」
「勤めているので作業時間が取れない」
「稲作を注視。後継者と相談して任せる。」
「後継者がいないため」

(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位: 人)

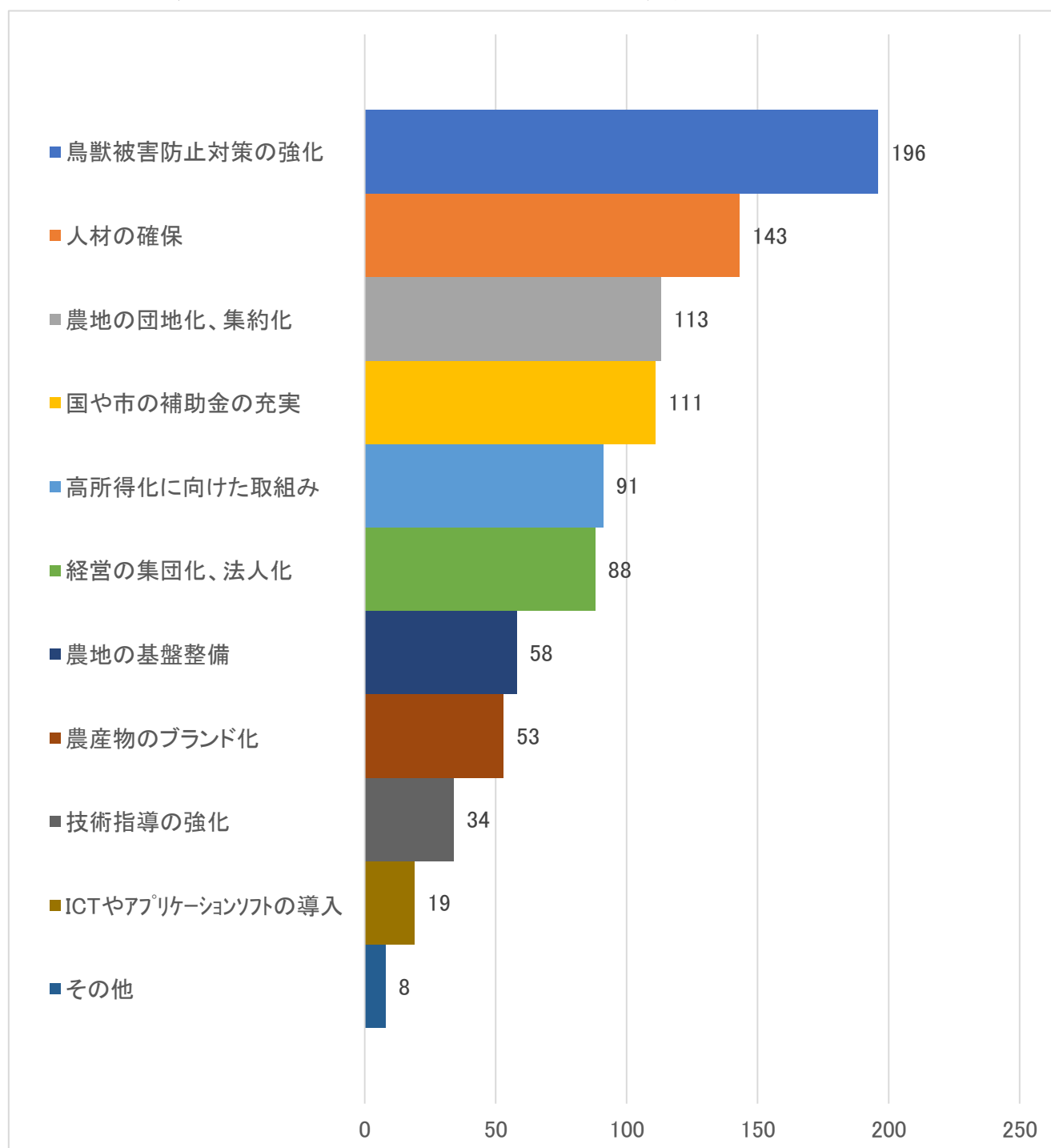


その他記載欄…

「国に譲りたい」
「遊休農地にする」
「別の作物を植える」

規模縮小したい理由として、高齢化や傷病など身体的な理由を挙げる人が特に多かった。また、栽培をやめた農地の用途については特に決めていない人が最も多く、全体の約半数を占める。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



その他自由記載欄…「販売の規格、方法等の指導を受けたい」、「若者のやる気」

「遊休農地を国が購入し一括管理する」

「農業者は法人社員として、安定した賃金、休暇を得る。法人は生産から販売、流通を手掛けることにより、さまざまな人を雇用できる。」

「耕作放棄地が増えてくると思うので、国や市で買い上げ集約化を進めてほしい」

「鳥獣被害対策の強化」が最も多かった。次いで「人材の確保」、「農地の団地化・集約化」、「国や市の補助金の充実」が多い結果であった。